

表紙イラスト：井上 敬子（西久保在住）



横 宏子（境南町在住）

編集協力員

足立 絢子（川路さんち）
若林 喬（月見路）
小河原洋子（関三倶楽部）
垣原 睦恵（そ〜らの家）
真野 等坪（さんもくせい）
久守江美子（花時計）
蓬田 恭子（くるみの木）
平野 幸子（あおば）



児玉 利彦（吉祥寺北町在住）

発行日 平成 22 年 3 月

編集・発行

武蔵野市役所

〒180-0012 緑町 2-2-28

●健康福祉部 高齢者支援課

電話：0422-60-1940 FAX：0422-51-9218

●子ども家庭部 保育課

電話：0422-60-1854 FAX：0422-51-9223

社会福祉法人 武蔵野市民社会福祉協議会

〒180-0004 吉祥寺本町 4-10-10 大東京信用組合ビル 3 階

電話：0422-23-0701 FAX：0422-23-1180

印刷 株式会社 文伸

小さな家たちの 大きなあゆみ

テンミリオンハウス 笑顔と元気でこの10年



武蔵野市テンミリオンハウス事業10周年記念誌



ごあいさつ

武蔵野市長
邑上 守正

平成11年11月1日、西久保1丁目にテンミリオンハウス第1号館の「川路さんち」を開設してから10年が経過しました。以来、市民の皆様のあたたかいご支援・ご協力のもと、現在までに高齢者向け7カ所、子ども向け1カ所を開設することができ、利用者も平成20年度末時点で延べ15万人を超えました。

振り返りますと、平成12年から開始された介護保険制度が、このテンミリオンハウス事業を始めるひとつのきっかけとなりました。行政による措置の形でデイサービスを受けていた方のうち2～3割の方が、この制度の導入でサービスを受けられなくなる恐れがありました。そこで、そのような方にも同様のサービスを提供したいという思いがこの事業の構想を生み出しました。

また、武蔵野市はかねてから配食ボランティアをはじめとした豊富な市民ボランティアの力を備えております。この力を施設運営のためにお借りすることができれば、行政ではカバーできない地域のニーズに応じたサービスの提供が可能になると考えました。

テンミリオンハウス事業は全国的に見ても類のない内容のため、開始当初からさまざまな課題に直面しましたが、運営団体のご尽力と地域の皆様のご支援により一つ一つ課題を解決して今日にいたりしました。

これまでの10年は、テンミリオンハウスの創設期でした。そしてこれからの10年は、テンミリオンハウスが市民の皆様にとって、さらに身近でよりよい存在となるための成長期となるよう全力で取り組んでまいります。引き続き市民の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。



テンミリオンハウス開設10周年を祝して

社会福祉法人 武蔵野市民社会福祉協議会 会長
伊藤 平司

武蔵野市テンミリオンハウス事業が開始されて、10周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

平成11年11月に第1号館の「川路さんち」がオープンして以来、現在までに8カ所のテンミリオンハウスが開設されております。各施設、特色を活かした様々な事業内容で運営されており、どの施設も開設から現在にいたるまでは試行錯誤の連続で、ご苦勞も多くあったことかと存じます。

行政が市民等の団体に対して、年間1000万円を上限に補助を行う取り組みは先駆的で、市外からの視察者も多く来訪されています。この事業は、多数の皆様方のご協力により成り立つものです。10年間にわたり日々、多彩な事業の実施や食事の提供等にご尽力されているスタッフの皆様をはじめ、運営に携わっているボランティア、地域の皆様にご心より敬意を表します。

武蔵野市民社会福祉協議会は「ささえあいのまちづくり」を目指し、当初からテンミリオンハウスの起業・運営支援業務を受託してまいりました。これからの社会は、地域での住民参加によるきめ細かな相互支援がますます重要になっていくものと思われまます。今後もテンミリオンハウス事業を通じて「共助」の取り組みがより一層推進されるよう武蔵野市や運営団体と共に努力してまいります。

最後にテンミリオンハウス事業のますますのご発展と各施設の皆様方のご健康とご多幸をお祈りして、お祝いの言葉とさせていただきます。

テンミリオンハウスとは？

介護保険制度の導入をきっかけに、高齢者の生活を地域において支援する新たな共助のしくみづくりが求められています。

武蔵野市では、地域の実情に応じた**共助**の取り組みを行う市民団体や特定非営利活動法人などに対して、年間1000万円(テンミリオン)を上限とする補助を行い、施設運営を通じて高齢者へのサービスを行っています。この施設が「テンミリオンハウス」です。

また、子育て支援を主な目的とした「こどもテンミリオンハウス」が現在、1カ所開設されており、一時保育等の事業を行っています。

キーワードは

「近・小・軽の家」

- 近** 所に施設があれば、気軽に利用できて家族とのつながりが保てます。
- 小** さな施設なら、サービスや施設管理も市民感覚で運営できます。
- 軽** 快なフットワークで、様々なサービスを柔軟に提供していきます。

地域福祉の推進に向けた3つの挑戦

① つくる福祉からつかう福祉へ

市有の土地・建物の有効活用だけでなく、民間の力も活用し、様々な社会資源を有効活用していきます。

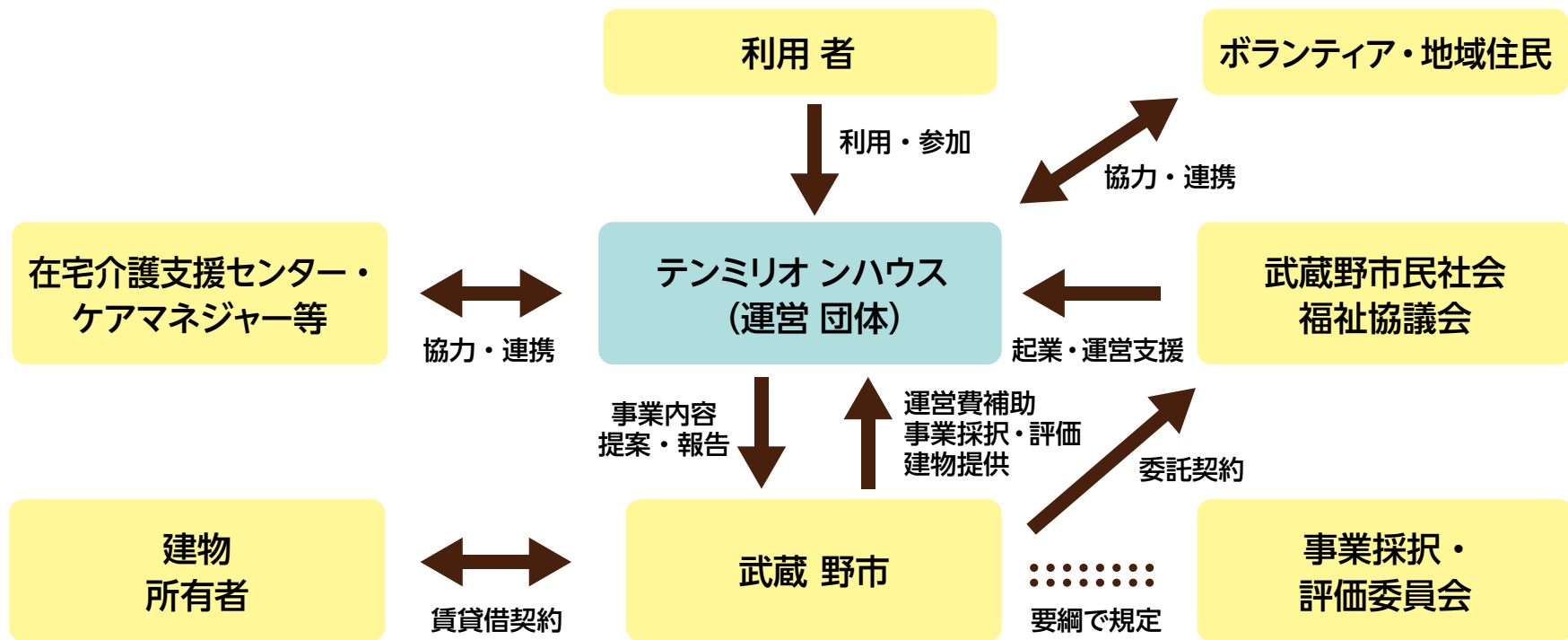
② 介護保険の限界を乗り越える

要介護認定の得られない方への対応や、様々な制約がある介護保険の適用範囲など、介護保険制度の限界を乗り越えるためのサービス基盤をテンミリオンハウスが担います。

③ 利用者も当事者としての役割を持って参加できる

サービスを「提供する側」「利用する側」と固定するのではなく、一人ひとりが持つ知識や経験を活かして、家庭同様の役割を見出すこともあります。テンミリオンハウスでは、生きがいを創造し、自立自尊の精神を大切にしたい地域づくりを目指しています。

テンミリオンハウスの し く み



武蔵野市民社会福祉協議会の役割とは？

テンミリオンハウスの起業・運営支援を担当

武蔵野市民社会福祉協議会（市民社協）では、武蔵野市からテンミリオンハウス事業の起業・運営支援の委託を受けています。

- ・テンミリオンハウス立ち上げ時の支援
- ・運営状況の確認
- ・事業内容の相談
- ・利用者の個別対応の検討
- ・スタッフ研修（食中毒の予防・介護についてなど）の開催
- ・各施設のスタッフ会議への参加
- ・代表者会議（運営団体同士の交流）の開催

など、各施設と連携した様々な取り組みを実施しています。



◀ 市民社協マスコットキャラクター “あいあい”

事業採択・評価委員会とは？

事業採択・評価委員会は武蔵野市に付属する機関で、民生委員等の福祉関係者や学識経験者など現在8名の委員で構成されています。

委員会の主な役割は、大別して以下の3点です。

- ① 新規テンミリオンハウスの **運営団体の選考**
- ② 既存テンミリオンハウスの **事業計画の採択**
- ③ 既存テンミリオンハウスの **運営実績の評価**

この他にも、実際にテンミリオンハウスを訪ねて、日々の運営状況を確認したり、施設長を始めとするスタッフの方たちとの意見交換を行うなどして、適切に運営評価ができるように努めています。



委員長 安達 高之

テンミリオンハウス事業のあゆみ

平成 10 年 6 月	「新世紀の豊かな地域社会を考える委員会」 (以下、新世紀委員会) 設置 市長よりテンミリオンハウスの構想を発表
7 月	市、(社福)武蔵野、(財)福祉公社、市民社協による「テンミリオンハウス事業検討ワーキングチーム」(以下、ワーキングチーム) 発足
平成 11 年 3 月	新世紀委員会 最終答申提出 ワーキングチーム 検討報告書提出
10 月	テンミリオンハウスシンポジウム「介護保険導入で求められる地域の支え合い」開催
11 月	テンミリオンハウス第 1 号『川路さんち』 (西久保 1 丁目) オープン
平成 12 年 4 月	『月見路』(吉祥寺北町 1 丁目) オープン
5 月	『関三倶楽部』(関前 3 丁目) オープン
6 月	『そ~らの家』(吉祥寺南町 5 丁目) オープン
平成 13 年 11 月	こどもテンミリオンハウス『あおば』 (吉祥寺北町 2 丁目) オープン
平成 15 年 4 月	『きんもくせい』(境 4 丁目) オープン
平成 17 年 3 月	『花時計』(境南町 2 丁目) オープン
平成 20 年 9 月	『テンミリオンハウスあり方検討委員会』 (以下、あり方検討委員会) 設置 〈運営団体と市民社協にて、今後のテンミリオンハウス事業のあり方について検討〉
10 月	『くるみの木』(中町 3 丁目) オープン
平成 21 年 5 月	あり方検討委員会 提言書提出
平成 22 年 3 月	テンミリオンハウス運営評価基準の見直し (平成 22 年度より適用)

テンミリオンハウスに関する



Q1 どんな人が使えるのでしょうか?

- A. 基本的には武蔵野市内に住んでいる65歳以上の方のうち、自力で施設に通える方が対象です(施設によって例外もあります)。介護保険の認定を受けていなくてもご利用できます。(利用は登録制) こどもテンミリオンハウスについては、27ページをご覧ください。

Q2 どんなことをしているのでしょうか?

- A. 内容は各施設によって様々ですが、各種プログラム(手芸・書道・体操など)の他に、喫茶・世代間交流・未就学障がい児一時預り・緊急ショートステイなどを提供しているところもあります。各施設の詳細は、13ページから28ページをご参照ください。

Q3 どんな人たちが運営しているのでしょうか?

- A. 運営を担っている事業主体は、地域住民による有志団体や特定非営利活動法人(NPO法人)です。地域とのつながりを大切にしながら日々の運営に取り組んでいただいています。

Q4 テンミリオンハウスを運営してみたいのですが。

- A. ①既存のテンミリオンハウスの運営期間終了後に行われる運営団体の公募に応募する。
②新規に物件が見つかった場合に行われる運営団体の公募に応募する。

上記①②のどちらかとなりますが、いずれも施設運営に責任を持つことができ、地域ニーズに合ったサービスを提供できる事業主体を、市が事業採択・評価委員会(4ページ参照)の推薦を受けて決定します。公募の内容は市報や市のホームページ等で詳細をお知らせします。

Q5 ボランティアとして活動したいのですが。

- A. テンミリオンハウス事業は、地域の人的ネットワークに根ざして実施されるもので、多数のボランティアのみなさんのご協力により、運営が成り立っております。34ページにボランティアの活動紹介が記載されておりますのでご参照ください。

Q6 こどもテンミリオンハウスではどんなことをしているのでしょうか?

- A. 親子が自由にくつろいだり、お母さん同士の情報交換の場となっているひろば事業、子育ての悩みごとなどに関する相談事業、保護者の方のリフレッシュや急な用事の時など、様々なニーズにお応えする一時保育事業を提供しています。





テンミリオンハウス事業開始 10 周年記念座談会 — 開設当初を振り返る —

- 開催日：平成 22 年 2 月 15 日（月）
- 場 所：市役所西棟 4 階 411 会議室
- 出席者：飯田 香（川路さんち前責任者）
原田由美子（関三倶楽部運営団体代表）
垣原 睦恵（そ〜らの家責任者）
大澤 美佳（こどもテンミリオンハウスあおば職員）
- 司 会：笹井 肇（市高齢者支援課長）

開設当初を振り返って



司会●テンミリオンハウス事業が平成 11 年度に開始されて 10 年を迎えました。振り返りますと、平成 10 年 6 月に設置された「新世紀の豊かな地域社会を考える委員会」で当時の市長から、地域の互助によるコミュニティ事業としてこのテンミリオンハウス事業の構想が打ち出されました。

一方で、この平成 10 年という年は介護保険制度導入準備の時期でして、この年に要介護認定のモデル調査を実施しております。当時、措置という形でデイサービスを利用されていた方を対象に、仮に要介護認定審査を行うとどうなるかを調べたところ、約 3 割の方が非該当になる可能性があることが判明しました。

そうすると、今までデイサービスへ通っていた方は、介護保険制度の導入と共にデイサービスへ通えなくなる。その方たちの受け皿をどうやって地域に作るかという議論がありました。

そういう背景の中で、まずはテンミリオンハウス第 1 号川路さんちの立ち上げに関わった飯田さんから順番にそれぞれ開設当初を振り返っていただきたいと思います。



飯田●平成 10 年 7 月のとても暑い日に、市から当時民生委員だった私のところへ「現在の川路さんちの建物を使って高齢者へのサービスを提供する施設を運営してもらえないか」というモデル事業実施の打診がありました。

当時の川路さんちの建物は何年も空き家となっていたので、本当にここで高齢者へのサービスができるのだろうかと思いました。

最も苦労したのが人集めです。何しろ、全国で初めて行う事業ですから前例がありません。具体的に何をやるのかもよくわからないのに人が集まるわけがないと思っていましたが、知り合いに頼み込んでスタッフとして従事し

ていただくことができました。利用者についても同様で、今思うと本当に感謝の一言に尽きます。



原田●関三倶楽部は平成 12 年 5 月に 3 番目のテンミリオンハウスとして開設しました。私たちは地域の方々には馴染みの薄い NPO 法人でしたから、何といたっても関三倶楽部に足を運んでもらうことに苦労しました。

関三倶楽部は今でこそショートステイを実施するテンミリオンハウスとして定着していますが、実は、開設当初は他のテンミリオンハウスと同様にミニデイサービス中心で実施していたんです。

一同●ええ！そうだったの？

原田●そうですね。その頃、近所にお住まいの方で重度の認知症を患っている方がいらっしゃいまして、ご家族が介護できなくなるくらいまで追い込まれた状態になったときに関三倶楽部へ相談にいらっしゃったことがあったんです。その時にショートステイの話が出て、市へ相談した結果、実施の許可をいただくことができました。それがショートステイを始めるきっかけとなったのです。



垣原●平成 12 年 6 月に 4 番目の開所となったそ〜らの家は吉祥寺南町 5 丁目にあります。この地域は、防災の観点からみると、道路は狭いし、背後には中央線があるなど当時は最も危ない地域であり、また、そ〜らの家ができるまでは付近に一つしか高齢者施設がありませんでした。その状況を見て、防災広場を設置するというを市は以前からお話されていた。

私は吉祥寺南町 5 丁目の民生委員を引き受けておりまして、防災広場に隣接する形でテンミリオンハウスができるという話を聞いたときには、何らかの形で運営のお手伝いをする必要があるだろうという思いから、地域の方々に声を掛けていきました。

開設当初は寄り合い所帯のような感覚でスタートしました。市から「利用者は 1 日 5～6 人を受け入れることができればよい」とのことでしたが、だんだん地域にそ〜らの家のことが浸透していくにつれ、利用者は優に 1 日 10 人を超えるようになりました。

建物などの管理に関することでは、こんなこともありました。当時は私たちがそ〜らの家と防災広場との境界がよくわからず、ある部分が雑草でひどい状態に…。

市に尋ねたら「えっ!?この部分もそ〜らの家なの?」ということも…(笑)。



大澤●運営母体を立ち上げた当初は在宅保育がメインでした。当時、サービスを提供しながら感じたこととして、子育て中の親というのは、仕事の都合で自宅に戻って来れなくなる日があったり、自分の親の介護をしながら子育てをしなければいけなくなったり、あるいは自分自身が病気で寝込んでしまって育児まで手が回らなくなってしまうなど、私たちが考えている以上に様々な事情をお持ちだということです。この現状を見て、私たちは、もっと安心・安全に子育て中のお母様方がゆっくりできる施設を運営したいという気持ちを持つようになりました。

テンミリオンハウスで対象とする方達の中に「子ども」というキーワードがあったので、早くから私たちは市へテンミリオンハウスの運営をしたいというアプローチを送り続けていました。

その思いが通じたのか、市から候補となる物件が見つかったとお知らせが入り、私たちが運営を担当できるようになったときはとても嬉しかったこ

とを覚えています。

あおばは、おばあちゃんの家のような風情ある建物でしたが、子どもが安心・安全に利用できるスペースとするにはとても苦労しましたね。

■ 運営中での苦労、良かったこと



司会●さて、テンミリオンハウスは地域における共助のしくみを促進させるとともに、「近・小・軽」という考えを事業の柱として事業展開をしてきたわけですが、このコンセプトで事業を運営してきて苦労した点や良かった点があればお聞かせください。

飯田●当時、市からは「隣の家でご飯をごちそうになる」というイメージで施設の運営をしてほしいという要望がありました。

私たちは「そのくらいなら…」と思っていましたが、実際に運営を開始してみると、その考えは甘かったことに気づかされました。

ご存知のとおり、私たちは施設の運営については全くの素人です。そんな素人の集団が公共の施設を運営するのは並大抵のことではありません。実際運営してみると、サービスを提供することはもちろん事務仕事ひとつとっても「こんなに大変なの!？」というのが正直な感想でした。

でも、苦労したことだけではなくありません。良かったこともたくさんあります。その中でも特に嬉しいのは、開設当初から利用されている方が10年経過した現在もとてもお元気でいらっしゃることです。

これは実績などの数字には表せないことなので周囲にはなかなか理解してもらえないのですが、現在でも96歳の方を最高齢に、皆さんお元気で川路さんちへ通っていらっしゃいます。これが私の誇りですね。

原田●サービスを提供するうえで最も苦労したことは、私たちスタッフが利用者に対してどこまでのサービスを提供すればよいのかを見極めることに尽きます。

関三倶楽部を利用するのは、基本的にご家族の方が何らかの事情で一時的に介護ができなくなったときです。当然、こちらで介護する方の大変さをできる限り緩和してあげたいので、気持ちとしては受け入れたいと思っています。

しかし、医療行為は行えませんし、利用者の状況によっては、お断りする場合があります。介護保険施設で受け入れを断られた方でも関三倶楽部では利用を受け入れている方も数多くいますので、できるだけことはしたいと思っています。

あとは運営費のことです。ショートステイを行うには人件費が非常にかかり、経営的にかなり難しいところがあるのは事実です。一時はサービス利用料の値上げも考えましたが、経営が苦しくなることは覚悟の上で現在まで実施してきました。

垣原●開設当初と比較すると、最近では利用者に認知症や体の状態が悪化して、そ～らの家では対応できない方も増えてきました。介護保険施設へのようにしてバトンを渡せばよいか非常に悩みました。現在は、在宅介護支援センターと連携を取って対応しています。

印象に残っていることでは、そ～らの家の近所の方が火事によって泊まる場所がなく途方に暮れてしまった時にそ～らの家で数日間過ごしていただいたことがありました。あの時は、地域の方々がとても親切に協力してくださいました。今でもとても感謝しています。

大澤●あおばは、場所的に不便なところにあるので、開設当初は見学や利用

希望の方に対して場所をお知らせする方法に苦労しました。その後は、利用者からの様々なニーズに応じていくために、どのようにしてスタッフのスキルアップや専門知識の向上を図っていけばよいかを考えることでとても悩みました。

司会●今後は、これまで運営を担ってきた皆さん方の経験を集約して、これから新しくテンミリオンハウスを運営する方たちに伝承していくといったことも必要になると思いますが、そのあたりはいかがでしょうか？

垣原●そのとおりです。そ～らの家では、世代交代を見越して後継者を育てている最中です。

原田●私も同感です。関三倶楽部の場合は、利用者の家族が施設長と会えるとても安心した表情を見せてくれるのです。他のスタッフが同じような対応をしても、やはり施設長とは安心感が違うようで、不安そうな表情をされる方もいらっしゃるようです。

しかし、いつかは世代交代をするときがやってきますから、その時に備えておく必要性を強く感じています。

■ これからのテンミリオンハウスに期待すること

司会●それでは最後に、これからのテンミリオンハウスに期待することを一言でお願いします。

大澤●今後も、ご家庭でお子さんと二人きりで過ごされているお母さんやグループに入るのが苦手な方が、気軽に立ち寄れる施設であり続けたいと思います。

原田●あまり施設のだと利用しようとしている方は入りづらい感じがすると思います。現在の「家」に近い形を大切にして、地域に対してオープンな存在であり続けたいですね。

飯田●なんといっても地域に住む住民と施設のバランスに尽きます。市もテンミリオンハウスも地域のニーズを敏感に捉えることが大事でしょうね。

垣原●世代間交流ができるような施設がもっと必要ですね。昔は当たり前であったおじいちゃんおばあちゃんと孫とのコミュニケーションが今ではとても少なくなりました。お互いの世代が学ぶ機会というのはいつの時代でも必要不可欠だと思います。

司会●本日は、テンミリオンハウス開設時の様子や今後期待することについて皆さんからお話をいただきました。テンミリオンハウスは、多くの市民の皆様のご協力により実施される事業です。これからもどうぞよろしくをお願いします。本日はありがとうございました。



テンミリオンハウスは **ここに**

あります!

① 川路さんち

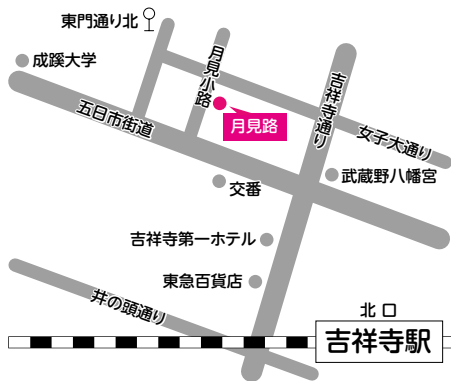
住所 ▶ 〒180-0013 西久保 1-34-2
TEL・FAX ▶ 0422-55-6239



- 三鷹駅北口から徒歩 10分
- 三鷹駅北口からムーバス三鷹駅北西循環「西久保コミセン」下車徒歩 3分

② 月見路

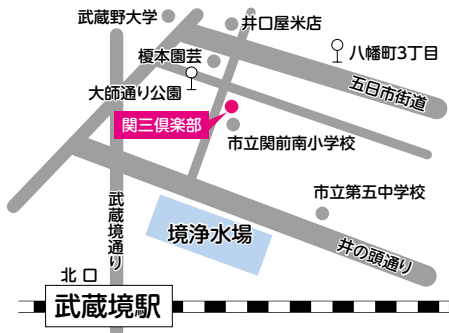
住所 ▶ 〒180-0001 吉祥寺北町 1-11-7
TEL・FAX ▶ 0422-20-8398



- 吉祥寺駅北口からムーバス吉祥寺北西循環「東門通り北」下車徒歩3分

③ 関三倶楽部

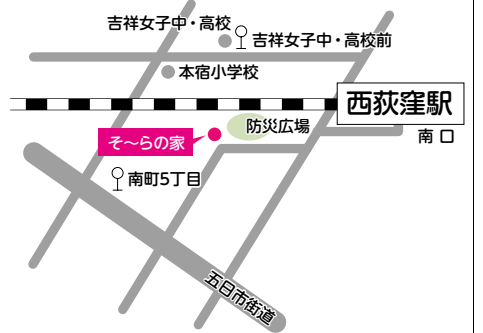
住所 ▶ 〒180-0014 関前 3-37-24
TEL・FAX ▶ 0422-56-9047



- 三鷹駅北口から関東バス「武蔵小金井駅」または「武蔵境駅」行き「八幡町3丁目」下車徒歩5分
- 吉祥寺駅北口から関東バス「向台町5丁目」または「桜堤団地」行き「八幡町3丁目」下車徒歩5分
- 三鷹駅北口からムーバス三鷹駅北西循環「大師通り公園」下車徒歩2分

④ そ〜らの家

住所 ▶ 〒180-0003 吉祥寺南町 5-6-16
TEL・FAX ▶ 0422-71-3336



- 吉祥寺駅北口から関東バス「中野駅」行き「南町5丁目」下車徒歩7分
- 吉祥寺駅北口からムーバス吉祥寺東循環「吉祥女子中・高校前」下車徒歩3分
- 西荻窪駅南口から徒歩 10分



⑤ きんもくせい

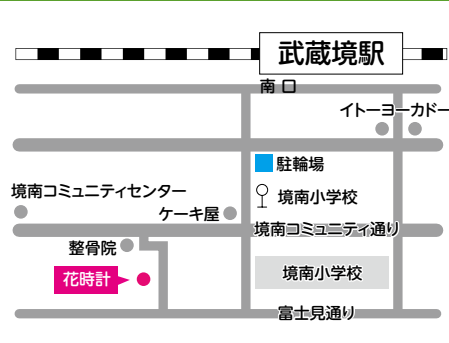
住所 ▶ 〒180-0022 境 4-10-4
TEL ▶ 0422-50-2611 FAX ▶ 0422-50-2612



- 武蔵境駅北口から関東バス「向台町5丁目」または「花小金井駅南口」行き「武蔵高校前」下車徒歩1分

⑥ 花時計

住所 ▶ 〒180-0023 境南町 2-25-3
TEL・FAX ▶ 0422-32-8323



- 武蔵境駅南口徒歩7分
- 武蔵境駅南口からムーバス境南東循環「境南小学校」下車徒歩3分

⑦ くるみの木

住所 ▶ 〒180-0006 中町 3-25-17
TEL ▶ 0422-38-7552 FAX ▶ 0422-38-7556



- 吉祥寺駅北口から関東バス「向台町5丁目」または「柳沢駅」行き「北町4丁目」下車徒歩10分

★ あおば

住所 ▶ 〒180-0001 吉祥寺北町2-16-11
TEL・FAX ▶ 0422-28-1883



- 吉祥寺駅北口からムーバス吉祥寺北西循環「青葉公園入口」下車徒歩3分

かわ じ
川路さんち

住所 〒180-0013 西久保1-34-2

電話 0422-55-6239 **FAX** 0422-55-6239

運営 グループ「萩の会」



画：内藤久満

平成11年11月テンミリオンハウスの第1号館としてオープンしました。生前福祉公社を利用されていた、川路健造氏より寄贈された民家を一部改修し、名前もそのまま頂きました。

事業内容

決められたプログラムが毎日あるわけではなく、利用される方が来たい時間に来て、好きなこと(おしゃべり・パッチワーク・刺繍・編物・クロスワードパズルなど)をして時間を過ごしていただいています。利用される方の一番の楽しみは昼食です。当番のスタッフが心を込めて作った食事を楽しくおしゃべりしながらゆっくり味わっていただいています。

開設曜日 月曜日～金曜日(祝日を除く) **利用時間** 午前9時～午後4時

利用対象 市内在住で自己通所の可能な高齢者(おおむね65歳以上)

運営は「グループ『萩の会』」

西久保地域の主婦を中心としたグループが運営にあたっています。地元で詳しいスタッフが利用される方々の身になって、ゆっくり楽しくくつろげる場であるよう心掛けて運営にあたっています。

グループ名は庭に咲く萩の花から名前をいただきました。



▲人気のコーラス



▲おやつの前に皆で体操



▲編物教室



▲楽しい昼食会



▲手話でうたう



▲五小児童との交流

利用者の声



私にとってこの10年は充実した日々でした。お世話して下さったボランティアの方々のお陰もあり、一度も行きたくないと思っ事はありません。それは川路さんちの方針と私の思想がピッタリだった事にあるのではないかと考えています。

過ぎし日の思い出、戦争中の苦労話、テレビ、新聞、雑誌のニュースなど、途切れなく、よくしゃべり大笑いも致します。

互いに教えたり、教えられたりと数え切れぬ勉強をさせて頂きました。

もう暫くこの生活をさせて頂きたいと思っております。どうか美味しいランチを頂きながら談笑出来る幸せを味わわせてくださいませ。

“幾年を 睦み集いし 萩の庭”

Aさん 95歳

四季を通して集う・学ぶ・楽しむ

門を入ると四季折々の花が咲き乱れ、集う人々の目を楽しませ、心をなごませてくれます。

利用者の声



昨年継母の死前後よりいろいろと多忙になったことで心身共に疲れ果て、自分の食事さえおっくうになり、体重もすっかり落ちてしまいました。

そんな時に「お一人住まいなら、お昼を川路さんちで皆さんとなさいませんか」とお声をかけて頂き、毎金曜日が大きな楽しみとなりました。お陰さまで最近では体調もだいぶ良くなり、食欲も出てきて気持ちの上でも元気を取り戻しつつあります。ご近所にお住まいのスタッフの方々や気楽に声をかけて下さる方々が多くいらつやる事は本当に頼りになり、有難い事だと深く身にしみて感謝致しております。

Bさん 70歳

つきみじ
月見路

住所 〒180-0001 吉祥寺北町1-11-7

電話 0422-20-8398 FAX 0422-20-8398

運営 特定非営利活動法人日本アビリティーズ協会



日本アビリティーズ協会は、昭和41年4月に設立し、心身に障がいがある人たちの自立と社会参加を進める運動・活動を44年間行ってまいりました。

「月見路」においては、その活動を原点として高齢になってもできるだけ元気で、自立した生活を目指し、住み慣れた地域で住み続けられるよう事業を行っています。

また、「地域の皆様と一緒に地域に根ざした活動」を目標に、開設当初より地域のボランティアの方々にもご協力いただき、特に「四小地区福祉の会」の委員の方々には「月見路運営委員会」のメンバーとして、ご協力いただいています。

プログラム

曜日ごとの定例プログラムのほか、納涼祭、クリスマス会、日帰りバスツアー、コンサート、講演会などの特別イベントを季節に合わせて実施しています。

曜日	午前	昼食	午後
月	健康体操 (ビデオを使用) 10時30分より	美味しく、 食べやすく、 栄養バランスよい ランチ提供	絵手紙 (第1・3週) フラダンス (第2週) 押し花 (第4週)
火			書道 (第1・3週) 健康相談 詩吟 (第2・4週) スケッチ (第2週)
水			刺し子 (第1・3週) 手芸 (第2・4週)
木			語ろう会 (第1週) 喫茶の日 俳句 (第2・4週) (第3週)
金			歌の会 編物 (第2・4週)
土			健康麻雀 クイックマッサージ (最終土曜日)

※「食べよう会(有名店のお菓子で喫茶)」「川柳の会」を不定期で行っています。

開設曜日 月曜日～土曜日(祝日を除く)

利用時間 午前10時～午後4時

利用対象 市内在住で自己通所の可能な高齢者(おおむね65歳以上)

利用者の声



「いつも家ではひとりなので、皆さんとおしゃべりできて楽しく、いつも元気を土産に帰れます。夜もよく眠れるようになりました」



「昼の食事が大変おいしくて、毎日来るのが楽しみです。お嫁さんの負担を軽くしてあげられますし……」



「プログラムが豊富で、経験したことのない新しいことにも挑戦させてもらい、日々の生活にメリハリができました」



「気力がなくて、しばらく顔を出さないと、スタッフが心配して電話をかけてきてくれるので、頑張ってお出かけしようという気持ちになります」

特別イベント



地域ふれあいコンサート

利用者、地域の方々に声をかけ、地域の高齢者施設の集客室で“ハワイアン”。皆さん“フラダンス”を楽しまれています。

お孫さんも特別出演



バスツアー

サイボクハム(埼玉)への日帰りツアー。牧場での食事と買物で大満足!日本アビリティーズ協会が企画する国内、海外旅行のほか観劇、コンサートツアーにも参加できます。



吉祥寺北コミュニティセンター文化祭

絵手紙・手芸・書道・スケッチ・俳句などの作品を毎年出展しています。年々、芸術的に!!

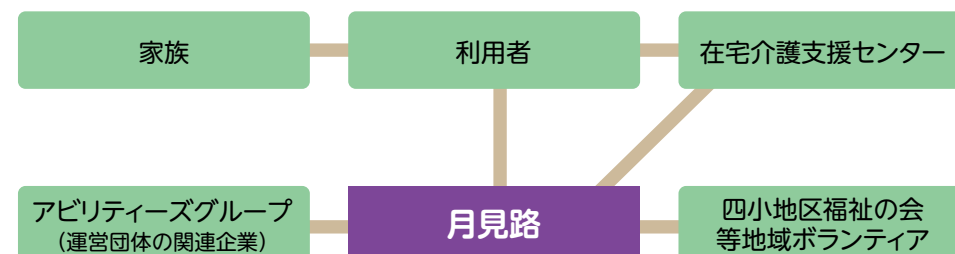


納涼祭

暑いからこそ“鉄板焼き”でした。みんなで食べるって楽しいね!他にも季節に合わせて、「鍋パーティー」「クリスマス会」など大勢で楽しむ集いの場を提供しています。

これからの月見路

利用者数は開設初年度、年間延べ1,065人でしたが、平成21年度は延べ3,500人が利用される見込みで、地域に根ざした施設となってきています。これからも、より多くの方々に安全で安心してご利用いただけるよう、ご家族の方、地域の方々と連携を密にし、「地域の集いの場」としての役割を果たしていきます。また、アビリティーズグループと連携し、利用者がいつまでもお元気でお過ごしになられるよう、ハード、ソフト両面よりサポートいたします。



関三倶楽部

住所 〒180-0014 関前3-37-24

電話 0422-56-9047 FAX 0422-56-9047

運営 特定非営利活動法人パーソナル・ケア吉祥寺



一人ひとりを大切に ニーズに合わせたサービスを ショートステイ ミニデイサービス



● ショートステイ

2床。まずはお相談下さい。できる限り対応いたします。

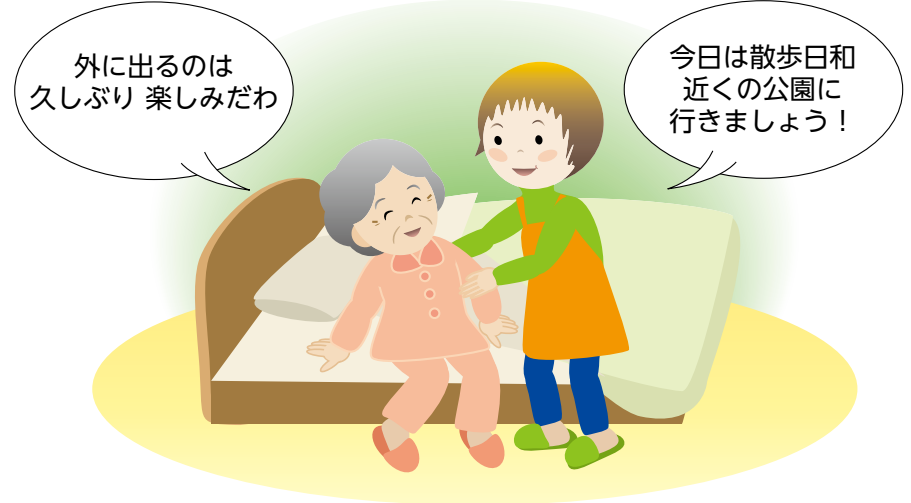
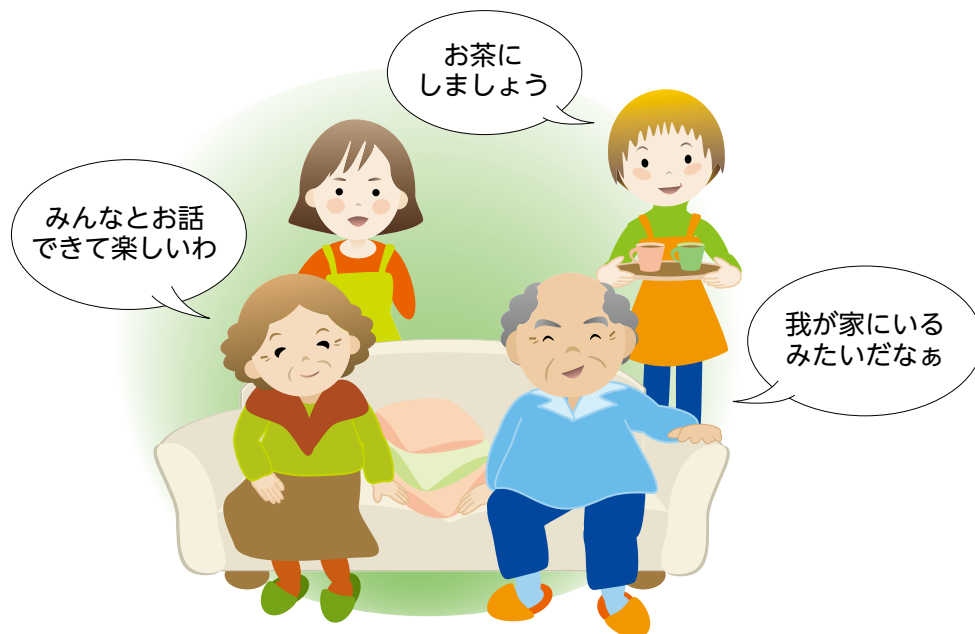
● ミニデイサービス

開設曜日 月曜日～日曜日（祝日も開設）

利用時間 午前10時～午後4時

※時間延長にも柔軟に対応いたしますのでお相談ください。

利用対象 市内在住の高齢者（65歳以上）



小河原さんに聞きました

関三倶楽部この10年を振り返って



朝、昼、晩の三食の献立を考えて、アツという間の10年という感じです（笑）。常に新しい出会いがあるから慣れるということはなく、今日はどんな方がいらっしゃるんだろうという期待と不安。チャイムが鳴ったときがいつも新たなスタートでした。

関三倶楽部は、思っていた以上に認知症の方の利用が多くて、当たり前前の事ですが、一人ひとりの違いを理屈でなく実感しました。介護って理屈の通らない世界なんだなあ、と思います。

この10年の間には、つらくて涙が勝手に溢れ出た日もありましたよ。でも明日は必ず来る、また陽は昇るって……時を待ちました。

良かった事ももちろんあります。とにかく出会いが多い。気付かされることがいっぱいあるんです。毎日が新しい気持ちでいられる。ただ、出会いの数だけお別れもあって、そのお別れも普段の生活範疇のものよりも早い。なんとも言いようがない、寂寥せきりょうとはこういうものかとその都度思います。

このような気持ちで10年が流れました。利用して下さった皆様のお顔が次から次へと過ぎります。





住所 〒180-0003 吉祥寺南町5-6-16

電話 0422-71-3336 FAX 0422-71-3336

運営 グループ萌黄



「そ~らの家」は屋根にソーラーパネルを設置し、隣地は防災広場になっています。

私たち地域住民とボランティアの方々を中心となり、ミニデイサービス、喫茶、介護予防、認知症サポーター養成講座等の講習会、在宅介護支援センターと家族との連携を行い、住み慣れた地域でいつまでも元気で住み続けられるようお手伝いをしています。

プログラム

曜日	午前	昼食	午後
月	合唱とピアノ	美味しく 栄養バランス の良い 日替りランチ	ラッピング (第1週)・茶道 (第2週)・ 押し花 (第3週)・ちぎり絵 (第4週)・手芸 (不定期)
火	合唱とピアノ		籐編 (第1週)・折り紙・ぬり絵
水	合唱と軽体操		合唱とピアノ・ハーモニカ・トーンチャイム
木	合唱とピアノ		書道・紙芝居 (不定期)・手芸 (不定期)
金	タオル体操		絵手紙 (第1.3.4週)・一弦琴 (第2週)・ぬり絵 (不定期)

※月1回、土曜日にフラワーアレンジメントを行っています。
※喫茶は、月曜日～金曜日午前10時～午後3時まであります。



開設曜日 月曜日～金曜日 (祝日も開設)

利用時間 午前10時～午後4時

利用対象 市内在住で自己通所の可能な高齢者 (65歳以上)



ラッピング



籐編



タオル体操

利用者の声

そ~らの家、開設10年おめでとうございます。最初からお世話になり、亡き吉崎先生、手塚先生には合唱の指導を通してたくさんの思い出を頂きました。現在は、それを引き継いだ佐々木先生、西田先生にやさしくご指導いただき感謝しております。

いつも笑顔で温かくお世話くださるスタッフの皆様、毎日の食事やおやつはもちろんのこと、ひなまつり、クリスマス会、ミニまつり、バスハイクなど楽しい行事をありがとうございます。

この先も健康の許す限り、お世話になりたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。 I.Tさん(86歳)

イベント

10月下旬



ミニまつり

朝採り野菜の販売は、人気があつてすぐに完売します。地域の人もフリーマーケットに出店します。

11月中旬

バスハイク

年に一度のバスハイク。遠出は出来ませんが、みんなとっても笑顔です。



12月下旬



クリスマス会

クリスマスメニューの食事、利用者、スタッフ一同、楽しみます。

2月下旬

ひなまつり

昔懐かしい甘酒と抹茶を飲みながら楽しいひと時を過ごします。



講習会

介護保険制度の改正点と、武蔵野市独自のサービスについて講習会を開催しました。83名の参加がありました。(平成21年度実施)



開設当時の様子



これからのそ~らの家

利用者の生きがいと健康づくりを考え、地域になくてはならない楽しい「家」を目指しています。豊富なメニューの食事、多彩な行事、講習会などスタッフ、地域が交流を深め、「地域の憩いの場」として活動します。

きんもくせい

住所 〒180-0022 境4-10-4

電話 0422-50-2611 **FAX** 0422-50-2612

運営 特定非営利活動法人ワーカーズコープ



基本事業

- 高齢者がいつまでも健康で文化的に、生きがいを持って生活していけるようなテーマで様々な趣味の講座を開催しています。また、地域にも活かされる施設運営を行っています。
- 栄養バランスを考え、旬の素材・地域の食材を活かした家庭料理を提供しています。また、会話のほろ楽しい昼食時間を作っています。
- 午後のそれぞれの講座の途中で（あるいは終了後に）、コーヒー・紅茶・ココア・レモネードなどを用意して、お茶の時間を楽しんでいただいています。

プログラム

曜日	午前	午後
月	パソコン らくらくストレッチ(第1・3週)	健康麻雀 パステル画(第1・3週)
火	書道 初めての英語教室(第1・3週)	初めてのパソコン 篆刻/水墨画(第2・4週)
水	パソコン 絵手紙	パソコン 絵手紙
木	初めの一歩健康麻雀教室	手芸/編物 ビーズ教室(第4週)
金	パソコン相談室 手話(第1・3週) 朗読の会(第4週)	健康麻雀 優しいヨーガ(第1・3週) こころのアトリエ(表現型アートセラピー)(第2週)
土	歌の会(第1・3週) 絵手紙(消しゴム印)(第2週)	折り紙(第1・3週) 大正琴(第3週)

開設曜日 月曜日～土曜日(祝日も開設)

利用時間 午前10時～午後4時

利用対象 市内在住で自己通所の可能な高齢者(65歳以上)

きんもくせいの1年間

地域の皆さんの様々な要望に応えられるよう、季節ごとにあるいは、その時々に行っているイベントを企画しています。

- 気候の良い時のウォーキング
- バス旅行
- 映画鑑賞
- 落語の会
- マンドリン・アンサンブルの演奏会
- 歌の会のミニ・コンサート
- 秋の作品展
- クリスマス会
- 介護や高齢期に関わる講習会



アンサンブルマーガレット



また、庭の木に実る夏みかんの特製マーマレードの販売も皆さんに喜ばれています。

～きんもくせい 人も各々輝き咲きて～

故郷を想わせる玄関を開けると施設長さんが笑顔で迎えて下さる。しばし憩いの場所、それが“きんもくせい”。

優秀な人材が揃う多くの講座の中で、私は、「こころのアトリエ」を受講させて頂いている。

季節により作品は異なるが、完成する迄の工程が、時持ちの時となり、刻々と過ぎ、時間の超過となる。なにしろ個性豊かな知恵者が情報を提供、時に笑いこけ、語り。出来、不出来関係なく完成。

室内には各々の講座を受講されている方々の作品の展示、その玄人肌に感銘と刺激受け。

窓の外は、と見れば春には花々が咲きほこり、秋から冬にかけては金色(こんじき)の夏みかん、やがてそれがジャムになる。

500円で栄養満点の昼食を和気藹々と頂き、時々土曜日には名画の鑑賞、と至れり尽くせり。これもひとえにスタッフの皆様の見事な連携で支援して下さっていると思うと頭が下がる。

武蔵野市の福祉の充実は、人々によってこそ、である。ただ、感謝、ありがとう。

ある日、利用者のS.Tさん(73歳)から届けられたお便り

きんもくせいのあゆみ

“きんもくせい”は、平成15年4月15日に5番目のテンミリオンハウスとして境4丁目に開設しました。特定非営利活動法人ワーカーズコープという全国組織が運営しています。庭に、秋には黄色い花を付け、甘い香りを漂わせるきんもくせいの木があり、この名前となりました。開設にあたっては、懇談会を何度も開催し、地域の皆さんがどんな施設を期待されているのかご意見をいただきました。利用者・ボランティアの皆さん、当初のスタッフの方々の努力によって現在の“きんもくせい”が作られてきました。施設の備品の多くは地域の皆さんの寄付によるものですが、今でも毎日のように食材その他を届けていただき、皆様のご協力に支えられて日々運営しています。

これからのきんもくせい

武蔵野市におけるテンミリオンハウス事業は、“きんもくせい”の運営をとおして特定非営利活動法人ワーカーズコープの各地の高齢者施設などからも注目されてきました。

これからの“きんもくせい”は、これまでの経験を大切にしながらも、テンミリオンハウス内の業務にとどまらず、この地域にある様々な施設・団体と連携・協力しながら、地域全体のコミュニティを生き生きとしたものにしていく役割を果たせればと考えています。

はな ど けい
花時計

住所 〒180-0023 境南町2-25-3

電話 0422-32-8323 FAX 0422-32-8323

運営 ゆう³ (ユウスリー)



画：平原逸郎（開設時に贈られた）

基本事業

- 高齢者向け：ミニデイサービス
- 乳幼児親子向け：ひろば
- 児童向け：伝統文化継承講座（登録制）
- 昼食・喫茶：旬の素材で「おいしい、やさしい、ヘルシー」をモットーとした昼食やどなたでも利用できる喫茶の提供

上記事業を柱に地域の情報の収集及び発信につとめ、地域の居場所となっています。

プログラム

曜日	午前の講座	午後の講座	児童の講座
月	ミュージックベル（第1週） 歌（第2・3週）・折り紙（第2週） 朗読（第4週）	体操 歌謡吟詠（第4週）	
火	健康麻雀	手芸（乳幼児親も含む） 英語の本を読もう（第1・3週）	
水	踊り（第3週） 英語と歌で遊みましょう（第4週）	絵手紙	箏曲（第1・3週） 茶道（第2・4週） 手芸（第2週）
木	源氏物語（第1・3週） 詩吟（第2週）	※各種イベント おしゃべりサロン	
金	手芸・パソコン 謡曲（第1・3週）	健康麻雀	

開設曜日 月曜日～金曜日（祝日も開設）

利用時間 午前10時～午後4時

利用対象 ①市内在住で自己通所の可能な高齢者（65歳以上）
②乳幼児親子
③児童
④地域住民の方（喫茶・イベントのみ）

優・遊・結

運営母体ゆう³は**優しい心と遊び**の心で多世代を**結ぶ**というミッションから。その思いは3乗に！スタッフの出会いの場は、境南小PTA時代です。

利用者の声

ここへ来ると、おしゃべりしながら楽しく食事出来るし、子どもたちのかわいい声や笑顔がなによりのごちそうで元気をもらえます。

遊ぶ語る/
親子のおへや



妹と来たけどワタシ赤ちゃんの時から来てるんだ。パパもランチするよ♪ここに来たらきっとおじいちゃんが「お名前は？」って聞くよ

学び楽しむ/



<健康麻雀>

<体操>

講座発表会

「あなたと私の花時計」



<歌の発表>

「花時計であそぼ」



<昔遊びを伝える>

世代間交流プログラム

年齢制限なし/

イベント月3回



<携帯電話の講習会>

花時計のあゆみ

花時計は、平成17年3月にオープンした世代間交流型のテンミリオンハウスです。楽しい時間を過ごしてほしいという思いでつけられた名前（一般公募により決定）のとおり、世代を超えた多くの方が利用され、楽しいときを過ごしています。また、世代を超えて伝えたい文化や遊び、各種イベントを実施しています。

これからの花時計

楽しい時間を共に過ごせる。
元気な声、かわいい声が聞こえる。
世代を超えてみんなが楽しめる。
地域資源とのネットワークを更に強化しながら、いつでも気軽に立ち寄れる地域の居場所であり続けたいと思います。



くるくる、みんな集う家

くるみの木

住所 〒180-0006 中町 3-25-17

電話 0422-38-7552 FAX 0422-38-7556

運営 特定非営利活動法人ワーカーズどんぐり



平成20年10月15日、中町3丁目に7番目のテンミリオンハウス「くるみの木」がオープンしました。

「くるみの木」は“地域ぐるみ”“笑顔やあたたかさにくるまれる”の意味をこめて「くるみの木」と名付けられました。

私たちは、出会って、語り合い、分かり合い、そしてつながるをテーマに「地域をつなぐ、世代をつなぐ、時代をつなぐ」くるみの木を大勢の皆さんと一緒に作っていきたいと思います。

プログラム ※印は地域向け企画講座(どなたでも利用可)

曜日	午前	昼食	午後
月	自立生活体操	日替わりランチ(月～金曜日) カフェくるみ(月～土曜日) / ランチ(月～金曜日)	手仕事をしよう!
火	ヨガ体操 (第1・3週) 朗読 (第2週) ピラティス体操 (第2・4週)		文章教室 (第1・3週) コーラス (第2週) 朗読 (第4週)
水	自立生活体操 コミュニティガーデン		布ぞうり/ビーズ講座/ ガーデニングクラフト ※カラー診断 (上記講座を不定期で実施)
木	のんびりカフェの日 (第1週) ※シェフの日 (隔月で1回)		のんびりカフェの日 (第1週) ※健康麻雀 (第2・4週) ※ミニコンサート (隔月で1回)
金	太極拳		音楽しましょう! (第1・3週) ハワイアンフラダンス (第2・4週)
土			※健康麻雀 (第1・3週)

開設曜日 月曜日～土曜日(祝日も開設)

利用時間 午前9時30分～午後4時

利用対象 どなたでも
※プログラムの利用および日替りランチについては、市内在住で自己通所の可能な高齢者(おおむね65歳以上)が優先



「ワーカーズどんぐり」は高齢の方や障がいのある方、子育て中の親が、地域の中で、その人らしく自立した生活が送れるようにと、平成13年にホームヘルプ事業を始めました。平成15年にNPO法人格を取得し、平成20年には介護保険制度の訪問介護事業所となりました。これからも誰もが安心して暮らせる街づくりを目指します。

NPO法人ワーカーズどんぐりが運営を担っています



くるみの木では、コミュニティガーデンという庭づくりを「くるみガーデナーズ」、ニューズレターの編集委員会、ブログ制作、環境、麻雀など、サポーターの力を借り、一緒に作っています。

※レスパイト (Respite) = 息抜き

企画事業
くるみ祭(10月)
フリーマーケット(年2回)
打ちたて蕎麦を食べる会(年2回)
介護家族のひろば
地域懇談会 など

情報発信中です。
毎月発行のニュースレターや毎週更新のブログ、そしてホームページで、くるみの木を紹介しています。
E-mail kuruminoki.10@watch.ocn.ne.jp
URL http://kuruminoki.10million.jp
ブログ http://blog.goo.ne.jp/kuruminoki10



こどもテンミリオンハウス
あおぼ

住所 〒180-0001 吉祥寺北町 2-16-11

電話 0422-28-1883 **FAX** 0422-28-1883

運営 特定非営利活動法人 保育サービス ひまわりママ



運営団体の特定非営利活動法人保育サービスひまわりママは、『地域の子育て支援をしたい』と保育事業を平成8年に立ち上げました。その後、利用者の声からひろば事業、保育事業を開始しました。

保護者の方と共にお子さんの成長を見守っています。



ひまわり事業

子育て中の親の多様なニーズに応え、安心できる環境でお子様をお預かり(一時保育)します。

開設曜日 木曜日～火曜日(祝日を除く)

利用対象 0歳から小学生



あひる事業

子育て中の方々に、のんびりくつろいだり、友だちをつくったりできる“時間”“空間”“仲間”の3つの“間”を提供する、ひろば事業です。

開設曜日 木曜日～火曜日(祝日を除く)

利用対象 就学前の子どもと保護者・プレママ



はあと事業

話したいな、聞いてほしいな、そんな相談にゆっくりとお応えします。

開設曜日 予約制

利用対象 子育て中の方、妊娠中の方

※各事業の利用時間については、お問い合わせください。

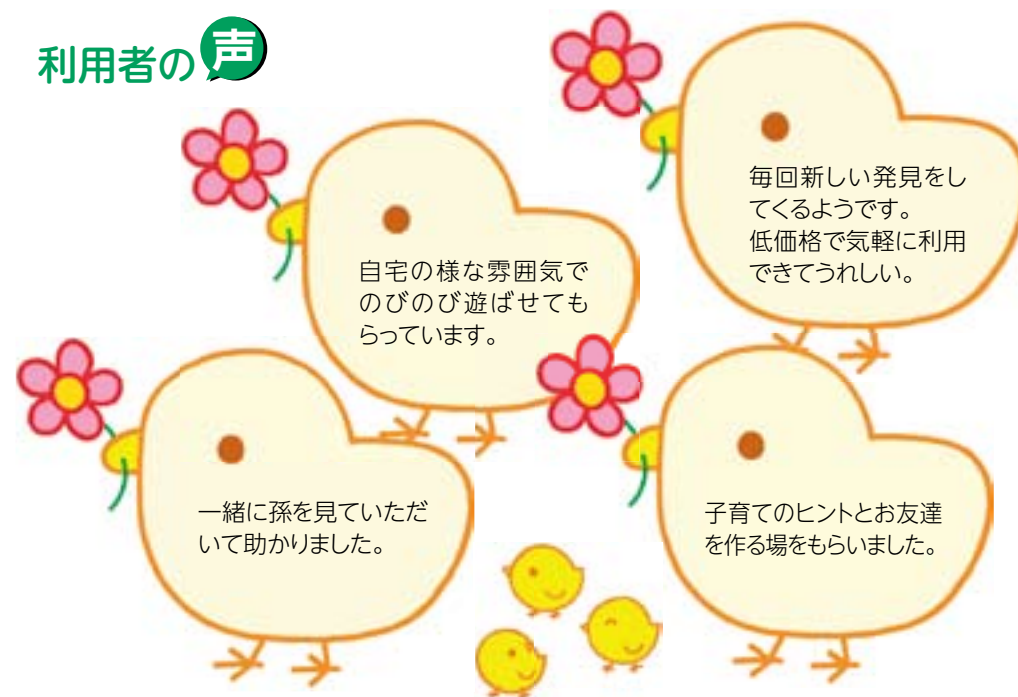


ある年の子育て支援講座

4月	わらべうた① こいのぼり	11月	ベビーマッサージ・パパ版 あおぼの誕生会
5月	春の植物の寄せ植え	12月	フラワーアレンジメント
6月	わらべうた② ベビーマッサージ	1月	わらべうた④ 手作りおやつ(食育)
7月	手作りおもちゃを作ろう(手芸)	2月	おひなさま
9月	わらべうた③ たまにはのんびりランチタイム	3月	スクラップブック 手打ちうどん
10月	親子遊び	子育て支援講座 年17回の講座を開講しています。	



利用者の声



こどもテンミリオンハウス第1号としてスタートした“あおぼ”も8周年を迎えました。おばあちゃんのおうちというコンセプトのもと、たくさんの子どもたちとの出会いがありました。開所当時BABYだった子どもも立派な小学生。本人はわからなくても、街でママに声をかけられる事もあります。また、“ピチピチおばあちゃん”が作る手作りおもちゃは好評で、遊びに来る親子と一緒に作ってきました。

地域の中でも少しずつ広まってきていると思いますが『もっと近くに!』……それぞれの地域にもこどもテンミリオンハウスができるといいなあ、というのがママ達の願いです。

<スタッフ一同>



テンミリオンハウスで こんなことがありました!

地域の支え合い

スタッフが全員その地域に住んでいるテンミリオンハウスでは、テンミリオンハウス内だけでなく日頃から町で利用者と会うと気軽に声をかけ合っています。また、スタッフがテンミリオンハウス休業日に、自宅近くの道で転んでケガをしていた利用者を発見し、病院まで付き添ったというケースもありました。

毎月、地域住民が参加する運営委員会を開催しているテンミリオンハウスもあります。運営委員は、地域社協の役員や民生委員がメンバーとなり、テンミリオンハウスの利用状況の報告、利用者に関する情報交換（テンミリオンハウス内での様子や町で見かけたときの様子など）を行っています。また、日頃のプログラムやイベントなどに運営委員が協力し、利用者との交流を図っています。運営委員はテンミリオンハウス外での利用者の状態も把握しており、日頃から地域で利用者を見守る活動にもつながっています。また、運営委員が近隣の高齢者にテンミリオンハウスを紹介するなど、テンミリオンハウスと地域住民が一体となった運営が行われています。



▲ 運営委員会の様子

他にもこんなことがあります



利用者作品展



保育園児との交流や小中学生の
職場体験受入れ



地域のどなたでも参加できる
昼食会

仲間づくり、生きがいづくり

Dさん(78歳男性)は、初めてテンミリオンハウスに来た時は、脳梗塞の影響で、手足が少し不自由、言語も不明瞭な状態でした。テンミリオンハウスで継続的に書道のプログラムに参加し始めてから、利用者作品展を目標に、作品づくりに熱心に取り組むようになりました。それにより、講座の仲間や先生との交流を通じて、人とのコミュニケーションをよりスムーズに取ることができるようになりました。

緊急時のための機能

家族からの虐待を避けるために、着のみ着のまま保護されたEさん(78歳女性)をテンミリオンハウスの緊急ショートステイで受け入れました。小規模で柔軟な対応が可能なテンミリオンハウスでは、他の施設等で受け入れができないケースにも必要に応じて対応しています。

数年前、テンミリオンハウス近くにあるFさん(78歳女性)宅で火事が発生しました。家は半焼してしまい、その後の生活は、自宅近くでの滞在を希望したため、二晩、テンミリオンハウスで過ごしました。

テンミリオンハウス 独自のサービス提供

Gさん(91歳男性)は、介護保険施設のショートステイを利用していたが、認知症のため、暴言がひどくなり、介護保険施設からは「他の利用者の迷惑になる」という理由から退所をやむなくされました。Gさんは、以前から利用しているテンミリオンハウスでは、小規模でスタッフがマンツーマンで対応してくれているためか、状態が落ち着いていたため、介護保険施設退所後のGさんの受け入れを行いました。

Hさん(73歳女性)は、家庭の事情でデイサービスの利用を午後3時～午後9時の希望としています。他の施設では開設していない時間帯ですが、テンミリオンハウスでは受け入れ可能だったため、テンミリオンハウスを利用しています。



テンミリオンハウスでこんなことがありました!

0歳~100歳までの世代を超えたつながりづくり

世代間交流を行っているテンミリオンハウスでは、高齢者と乳幼児親子の交流が日常の中で自然に行われています。高齢者にとっては、乳幼児の笑顔が高齢者の元気のもととなったり、乳幼児の親にとっては、高齢者から励ましの言葉をかけてもらったり、子育てについての知恵を教えてもらい、実家のような場所となっています。また、児童向けの講座を実施しており、様々な年代が利用できるテンミリオンハウスとなっています。



▲ 児童向け講座の様子

おいしい**食事**の提供

Jさん(75歳独居男性)は、1年前に妻が他界してからは一人で暮らしています。家事は苦手で、食事はコンビニで買って過ごしていました。次第に買いに行くのも面倒になり、食事を抜いてしまい、食べない日が続くことが多くなっていました。ある日、知人の紹介により、昼食はテンミリオンハウスで摂るようになりました。テンミリオンハウスの食事は、彩りが工夫された旬の食材を豊富に使い、栄養面でもバランスの取れた献立なので、Jさんの毎日の楽しみになっています。温かい昼食を大勢で会話を楽しみながら摂ることにより、孤食を免れ、心の栄養補給にもつながっています。

子育て支援のための機能

こどもテンミリオンハウスでは、親同士、子ども同士の友達づくりのきっかけができたり、スタッフから子育てのヒントをもらい安心したという声が多くあります。また、一時保育は、家族の病気の際や、出産時の上の子どものお世話などに利用されており、大変喜ばれています。

入浴サービスの実施

自宅で一人で入浴することが不安な人、浴槽が故障してしまった人、自宅のお風呂が狭くて危険を感じている視覚障がいの人等が入浴サービスを利用しており、大変喜ばれています。

安否確認の役割

Kさん(80歳独居女性)は、毎日、朝10時にテンミリオンハウスに通うことが日課となっていました。ある日、お昼になっても来所せず、連絡もなかったため、心配したスタッフがテンミリオンハウスの目の前にあるKさん宅に行ったところ、階段からすべり落ち、動けなくなっているKさんを発見しました。テンミリオンハウスではその日、ちょうど健康相談日の保健師がいたため、Kさん宅に保健師が向い、タクシーで病院まで同行しました。Kさんは圧迫骨折で、3週間の入院生活を送ることになりましたが、その後の回復は順調で、現在は毎日、元気にテンミリオンハウスに通っています。

続けて来所することの効果

10年前からテンミリオンハウスに通っていたLさん(90歳女性)は、10年経った今も、週5日元気に通っています。10年前は、近所のお店で買い物をすることもありましたが、今は、お店の場所がわからなくなり、一人では行くことができなくなってしまいました。しかしテンミリオンハウスは、10年前から通い慣れた場所であるため、今でも迷わずに来ることができています。

利用者の意見を取り入れたイベントの実施

Mさん(68歳男性、視覚障がい者)は、視覚障がい者の朗読会の開催場所を探していました。テンミリオンハウスに相談したところ、隔月で朗読会を実施することになりました。今では朗読会の関係者の他、テンミリオンハウスの利用者など総勢30名以上が参加するととも人気のあるイベントとなっています。

他にもこんなことがあります



地域住民向け介護講習会



地域住民向け子育て講座



在宅介護支援センターと共催の講座

テンミリオンハウス利用者 アンケート結果

調査対象および回収率

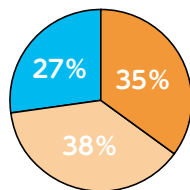
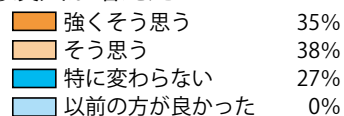
高齢利用者	平成20年2月現在テンミリオンハウスを利用している高齢者668名(6施設合計)を対象に郵送によりアンケート調査を実施した。 計6施設 ▶ 川路さんち、月見路、関三倶楽部、そ~らの家、きんもくせい、花時計 回収率 70.8%
乳幼児親子	平成20年2月現在テンミリオンハウス花時計およびこどもテンミリオンハウスあおばを利用している乳幼児の親597名を対象に郵送によりアンケート調査を実施した。 回収率 46.9%

テンミリオンハウスを利用して、あなた自身にどのような変化がありましたか？

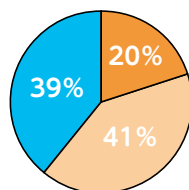
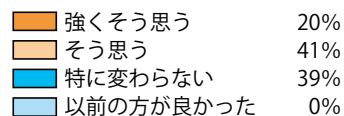
(無回答の割合は除く)

●高齢利用者

①友人が増えた

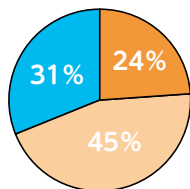
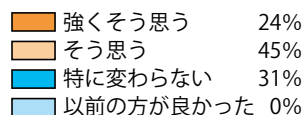


②外出する機会が多くなった

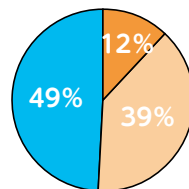
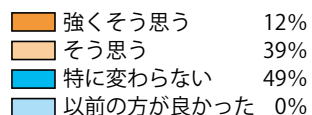


●乳幼児親

①子育ての負担感が減った



②外出する機会が多くなった



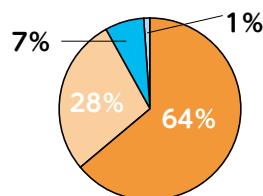
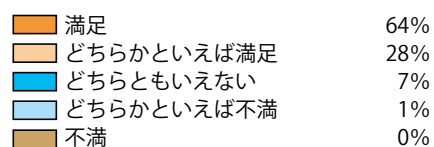
あなたが今後利用したいサービスはどれですか？【複数回答可】

- 高齢利用者
- 第1位 食事
 - 第2位 喫茶・おしゃべり
 - 第3位 手芸・編み物

- 乳幼児親
- 第1位 昼間の一時保育
 - 第2位 親子利用
 - 第3位 親子遊びの講座

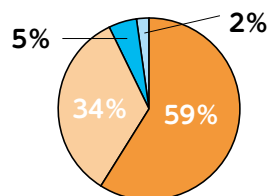
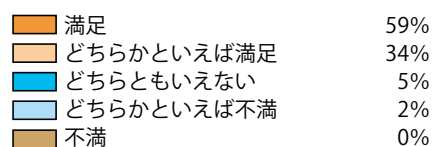
現在、利用しているテンミリオンハウスを総合的にみてどの程度満足していますか？

●高齢利用者



●乳幼児親

(無回答の割合は除く)



ご協力いただいています

テンミリオンハウスでは、数多くのボランティアの皆様日々ご協力いただき運営を行っています。年間で延べ3500名(8施設合計)を超える方々が活動されています。

ご協力いただいているボランティアの方の活動をいくつかご紹介させていただきます。

ご夫婦で活動

テンミリオンハウスBにて…

毎週ある合唱の時間にご夫婦でピアノの伴奏と歌の先生としてご協力いただいております。仲の良いご夫婦と一緒に利用者みなさんの歌声が施設内に響いています。

植木の手入れ

テンミリオンハウスAにて…

季節ごとに庭の手入れや植木の手入れを男性4人の方にご協力いただいております。クリスマスには、ツリーの飾り付けもして下さいます。きちんと手入れされた庭で、利用者みなさんが四季折々の庭木を楽しんでいます。

お花や食材の贈り物

テンミリオンハウスCにて…

庭に咲いた花を持って来て下さる方がいらっしゃいます。この花は絵手紙講座の画材になったり、施設内に飾って、人々を和ませてくれます。

テンミリオンハウスDにて…

毎年、田舎から送られてくる30kgのお米を寄付して下さる方がいます。みなさまからの温かい届け物で、おいしい食事づくりをしています。

ブログの更新

テンミリオンハウスEにて…

テンミリオンハウスのホームページにブログが開設されています。ブログの開設には、文章講座に参加していた方にご協力いただき、現在では更新作業をしていただいております。イベント情報やその日の施設の様子を随時更新していただいておりますので、リアルタイムでテンミリオンハウスの情報を発信することができます。

ここには掲載しきれませんでした。他にも全ての施設において多数のボランティアの方にご協力いただいております。

ボランティア募集中!

講座講師、庭の手入れ、調理補助、利用者の話し相手などのお手伝いをしていただける方を募集しています。ぜひ、多く皆様のご協力をお待ちしております。

問い合わせ ▶ 各施設または市民社協 ☎ 0422-23-0701 まで